

小 春 日 和

こ は る び よ り

2017年 第34号

発 行

愛媛県立中央病院

松山市春日町83番地

TEL:089-947-1111

<http://www.eph.pref.ehime.jp/epch/>

愛媛県ドクターヘリ運航開始

～県内全域にわたって命を守る使命を帯びてテイクオフ～



運航開始式典の様（1月31日）

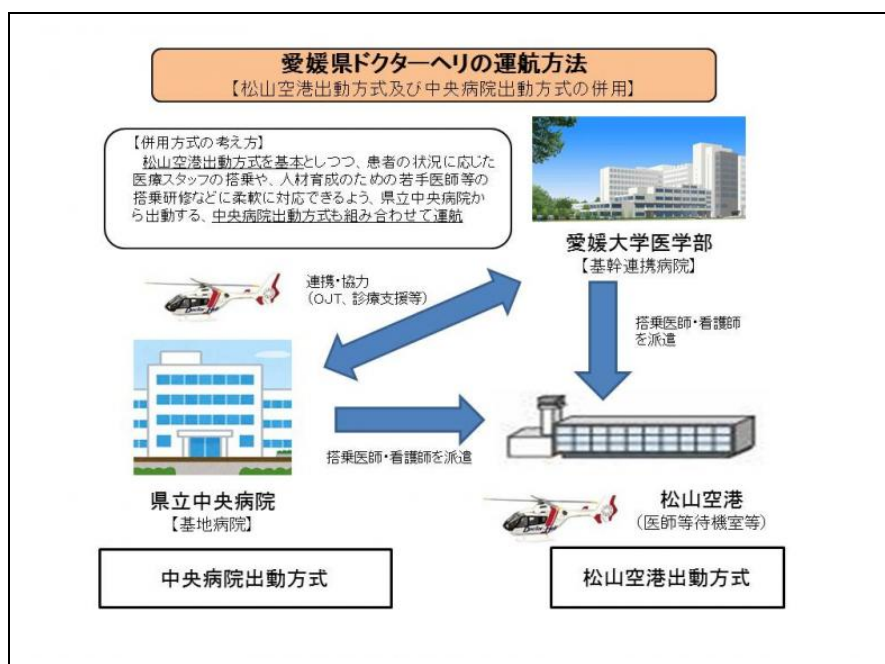
2015年から県が導入を検討してきた愛媛県ドクターヘリの運航開始式が、中村愛媛県知事、西村県立中央病院院長ほか医療機関、消防機関地元自治会、広告主等関係者参集のもと、松山空港で1月31日に行われ、2月1日から正式に運航が開始されました。

ドクターヘリとは、患者モニターや人工呼吸器などの救急医療に必要な医療機器及び医薬品を搭載した救急医療専用のヘリコプターで、救急医療の専門医（フライトドクター）及び看護師（フライトナース）等が同乗し、救急現場等に向かいます。



ドクターヘリ・スタッフ

このドクターヘリの運航により、生命の危険がある患者さんに救急現場などでの初期治療が可能となるとともに、速やかに医療機関へ搬送することが可能となり、救命率の向上や後遺症の軽減などの効果が期待されます。



ドクターヘリの運航は、基地病院となる県立中央病院と基幹連携病院の愛媛大学医学部附属病院の医師と看護師が持ち回りで搭乗し、当面は、松山空港に搭乗医師・看護師が待機し、松山空港から出動する『松山空港出動方式』及び朝、松山空港から当院屋上ヘリポートにドクターヘリを移動し、当院から出動する『中央病院出動方式』を併用することとしています。



島しょ部や中山間地域が多く、東西南北に長い県内全域をおおむね30分でカバーできるドクターヘリの有用性は高く、救急車による対応に比べて初期治療の迅速化や搬送時間の短縮化が期待でき、医療の地域間格差の解消・救急医療体制の充実・強化につながるといえます。

今後は、出動要請を行う消防機関をはじめ関係機関との意見交換や訓練を定期的実施し、さらに安全で効果的な運航体制の構築に努めていきます。



屋上ヘリポートに駐機するドクターヘリ



ドクターヘリスタッフから病院スタッフへ

医療事故調査制度をご存知ですか？

この制度は、医療の安全性の確保と医療事故の再発防止を目的とする制度といわれています。「医療法」に基づき 2015 年 10 月に始まった医療事故に関わる新しい制度です。

この制度の対象となる「医療事故」とは、「病院、診療所、助産所に勤務する医療従事者が提供した医療に起因し、または起因すると疑われる死亡または死産であって、その管理者が当該死亡又は死産を予期しなかったもの」であり法令等に詳細に規定されています。

この「医療事故」に該当するかどうかについては、医療機関の管理者が組織として判断し、該当すると判断した場合は、ご遺族への説明後、『医療事故調査・支援センター』に医療事故発生の報告をします。

医療事故というと医療機関にミスがあったのではないかと誤解されますが、決してそうではありません。

「医療に起因した予期せぬ死亡事案」というわかりにくい表現をされていますが、医療者がミスをしたからということではないということをしかりと理解していただきたいと思います。

そして、医療機関の管理者はこの報告を行うことが義務付けられていますが、ご遺族が報告する仕組みとはなっていません。

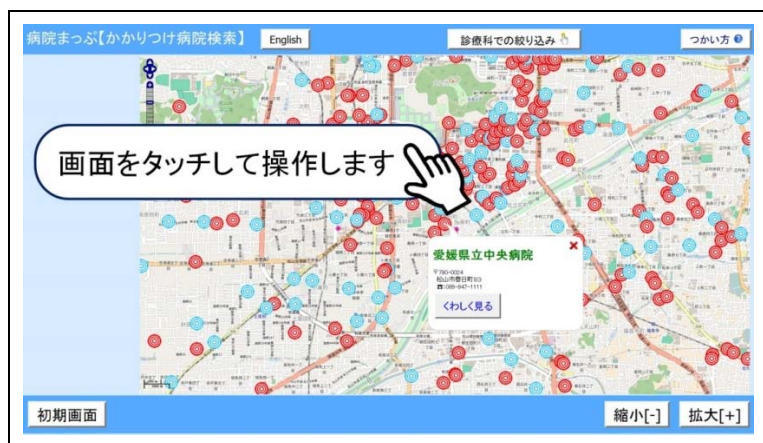
分りにくいとは思いますが、「こんな制度があるんだな」ということを知っていただけると幸いです。

詳しくは厚生労働省のホームページを参照してくださいね。



地域医療機関タッチパネル検索システム設置

利用時間 7:30~20:00



当院では、地域の医療機関（かかりつけ医）を紹介し、患者さんが安心して治療を継続できるよう努めています。

そこで、地域の医療機関（かかりつけ医）のことをもっと知ってもらうため、診療棟 1 階「旧持参薬管理コーナー」に患者さん向けに地域の医療機関情報を提供する端末を設置しました。

この端末はタッチパネル式となっており簡単な操作で、県内の医療機関（医科・歯科）の情報を検索することができます。

医療機関の場所、診療内容、診療時間などが地図上で簡単に検索できます。

検索した情報は印刷することもできます。

ほかにも、県立中央病院内のフロアガイドも見ることができますので、お気軽にご活用ください。



病病連携・病診連携

連携医療機関のご紹介～第5回～

※当院は、平成22年10月29日に『地域医療支援病院』の承認を受けています。

このコーナーでは、紹介・逆紹介によって互いに連携を図っている医療機関を随時ご紹介させていただきます。(紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。)

Ⅵ 医療法人天真会 南高井病院



- ・病床数：353床（6看護単位）
 - 障害者施設等一般病棟（120床）
 - 医療療養病棟（180床）
 - 内 在宅復帰機能強化加算病棟
 - 介護療養病棟（53床）
- ・入院患者数：343人／日 稼働率（97.4%）
- ・看護体制：2交代制
 - 日勤（8：30～17：30）
 - 夜勤（16：30～9：30）
- ・看護方式：固定チームナーシング

※当院では、地域包括ケアにちからを入れております。

- ・3つの医療療養病棟のうち1つが在宅復帰強化加算病棟です。
- ・介護療養病棟においては、介護度3以上の方優先にてお受け入れ可能。
- ・障害者病棟では、重度四肢麻痺、神経難病の方をお受けしています。
- ・病態としてTPN、NIPP（補助呼吸）、酸素療法、癌緩和ケア等可能です。

その他、ご不明な点がございましたら、御遠慮なくご相談下さい。

Ⅶ 医療法人聖愛会 松山ペテル病院



- 所在地：松山市祝谷6丁目1229番地
- TEL：089-925-5000 ○FAX：089-925-5599
- 診療科目：内科、神経内科、胃腸内科、診療内科、外科、整形外科、脳神経外科、精神科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
- 病床数：155床
(地域包括ケア病棟26床・障害者施設等一般病棟29床・緩和ケア病棟38床・特殊疾患病棟32床・療養病棟30床)
- 外来受付時間：8時30分～12時 13時～17時

(休診日 土曜、日曜、祝日、8月15日、年末年始)

○病院の基本理念：私たちは、キリスト教の『愛の精神』を基本理念として、ホスピス精神を大切にしたい全人的なケアの実現を目指します。

○病院の概要：

- ・1982年4月に開設。現在、家庭的な雰囲気の中で、地域包括システムを推進。患者さまとご家族を支援しています。
- ・在宅支援病院として総合病院と連携を密に行い、高度医療・急性期治療等の紹介や治療終了後の経過観察や在宅復帰にむけてのリハビリや介護指導等を行っています。
- ・在宅復帰後は、訪問診察・訪問看護・ホームヘルパーの導入等、在宅診療部と連携し、在宅療養を支援します。又在宅療養中の患者さまの急変時や急性増悪の際の入院受け入れも行っています。